

物部小学校～守山南中学校、同じルーツから世界を目指す2人が対談



世界で愛されるスーツを作るメンズテラー
伴野 友彦さん(43歳)

夢を燃やす 熱さが翔る

なかじま かのり
中島 楓さん(17歳)
英国名門スクールに入学を決めたバレエダンサー

ピックアップ

イギリスの名門バレエ学校に入学を決めた、中島 楓さん(古高町)が、焰魔堂町のオーダー スーツ専門店 DAVID LAYNER を訪れ、「世界のメンズテラー」の夢をかなえた小中学校の大先輩・伴野 友彦さんと対談しました。

9月に英国バレエ学校に入学
人とのつながりも学びも楽しみ

中島さん 9月からバレエ学校に入学するため、もうすぐ渡英します。自分よりレベルの高い人たちとともに学ぶことが今から楽しみです。

伴野さん 海外ではバレエの実技以上に、言葉の壁や人間関係の壁に当たるかもしれない。コミュニケーション能力が大切だと思う。

中島さん 現地オーディションで英国に行ったとき、日本人は他にもいたけれど、あえて一人で行きました。おかげでいろいろな人とのつながりができました。

夢に向かって世界へはばたく
「行動、決断、継続」が大切

伴野さん 私が17歳の時はどうだったかな。夢に向かって大切なことは「行動、決断、継続」。好きなことをやるってすこいよね。苦しいとか、もう辞めた

いとか思ったことないの？

中島さん 辞めたいと思ったことは一度もありません。将来は芸術レベルの高い海外でプロのバレエダンサーになりたい。今回の渡英はそのための挑戦です。

※伴野さんのお願いで、中島さんがフロアでバレエのポーズ(踊り)を披露。

伴野さん (大喜びで拍手喝采) 私たちは年齢もジャンルも違うけれど、自分がやりたいことで守山から世界へはばたく、世界へ夢を追っているという点は同じだと思う。中島さんは後輩たちに夢を与える存在になるね。

夢と情熱だけでは飛べない
周囲のサポートに感謝を

伴野さん 中島さんはとても恵まれていると思う。「条件・サポート・情熱」がそろわないと夢を追いかけるのは難しい。才能や情熱があっても、周囲のサポートや協力が得られずに諦める人はたくさんいるはず。感謝を忘れないで。当たり前になつてしまつのが一番怖いこと。

中島さん その通りだと思えます。高校へ行かずに渡英することを理解してくれた両親や、背中を押してくれたバレエの恩師、応援してくれるみんなにはとても感謝しています。

伴野さん 中島さんが二十歳になった時、私のスーツで市民ホールの式典に出てくれたらいいな。5年、10年後にまた話ができたら面白いね。

